

欲に溺れる

人妻

鶴永いくお

若い欲に蜜をこぼして

1

欲に溺れる人妻

～若い欲に蜜をこぼして～

第1話





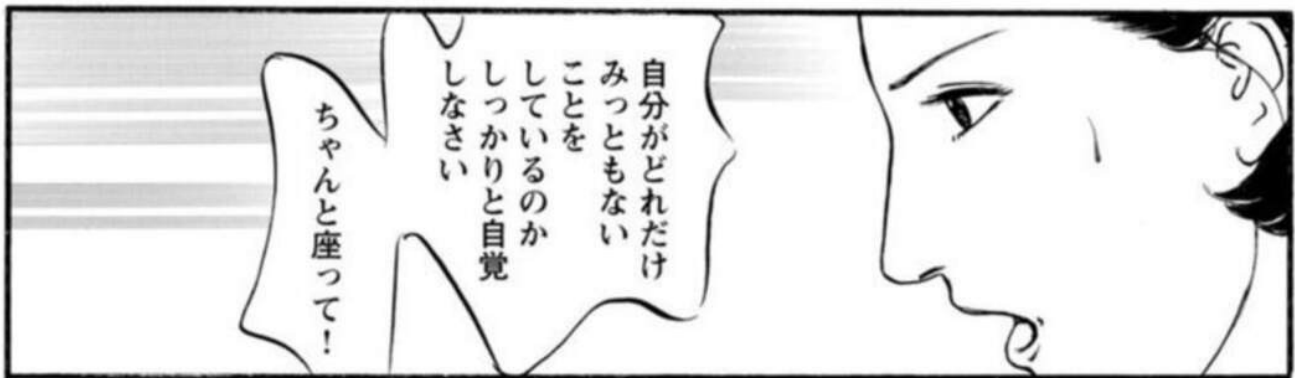
えっ!?



な…何!?

とっ突然…









隣近所で
こんな揉め事を
表沙汰にはしたく
ないでしょ

だからこうして
あなたがひとりの時を
見計らって
意見をしにきたのよ



さあもう
ズボンを
はきなさい



こういう事は
放っておいたら
どんどん深みに
はまって
しまうでしょ

下着なんかでは
満足できなくなつて
次はどんなことを
してかしてしまう
のか……



何をしてるの？



い……いや
なんだかもう……











ばかね
何よ
中身って...



そういう好色な目で
見られるのは
ばかにされている
みたいで嫌なのよ



知ってるで
しょうけど
私は未亡人だから



あっ



亡くなった主人は
学校の教員
だったのよ

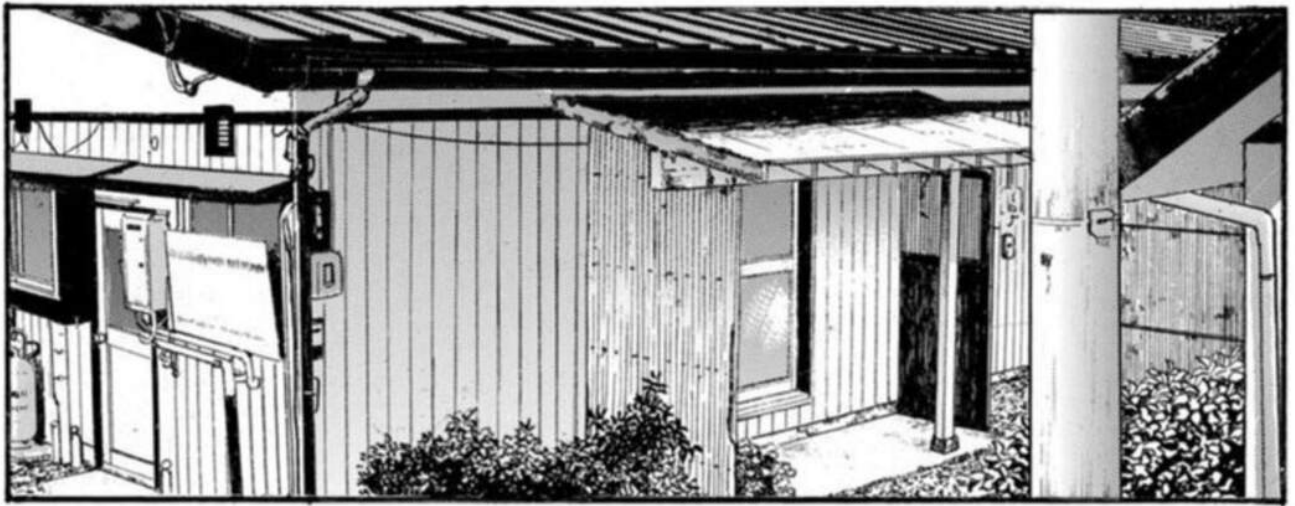
生真面目で
誠実で実直な











だっだめ

ああいや...









したのは
午前中でしょ
午後になって
また…こんな…

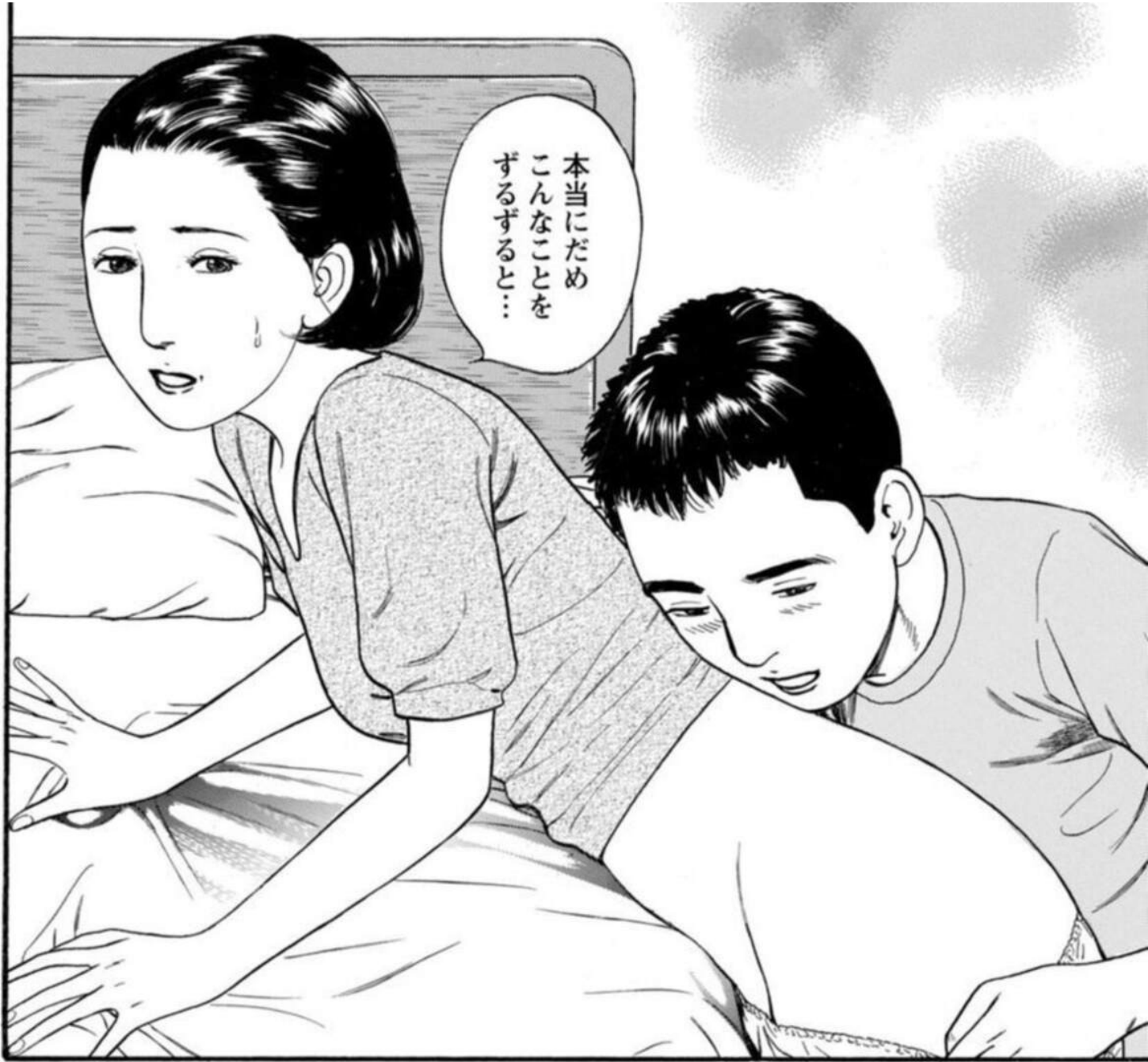


ああだめよ
茂男くん



おばさん
今日だけって
言ってたじゃない

だから
今日のうちに



本当にだめ
こんなことを
するすると...



あぁ〜



でも...
今日だと
言ったんだから

今日だけは...

欲に溺れる人妻

～若い欲に蜜をこぼして～

第2話









買い物ついでに…
ていうには
ずいぶん遠くまで
歩いてきたんだね



買い物ついでに
歩いてきたのよ



ヒデちゃんの顔を
見たくなった…て
言ったら信じて
もらえるかな



うしろから
抱いて
くれない？



じゃあ他のことを
ヒデちゃんに
お願いしても
いいかな

なに…？



時子叔母さんに
顔を見せろって
お願いされたら
いつでも僕のほうから
出向いていくよ



包むように
ギュッと抱いて
くれたら
うれしいんだけど



だっ抱くって？



ギュッと

もつと



こ…こ…う？





だめ…と
言ったら



とっても
柔らかい

じかに
触れたら
きっと…もっと



許してもらえ
るつもりで聞
いてるんだけ
ど…



はっ

あっ

きれいな
オッパイだね
触っているだけ
で…
本当…幸せな気分



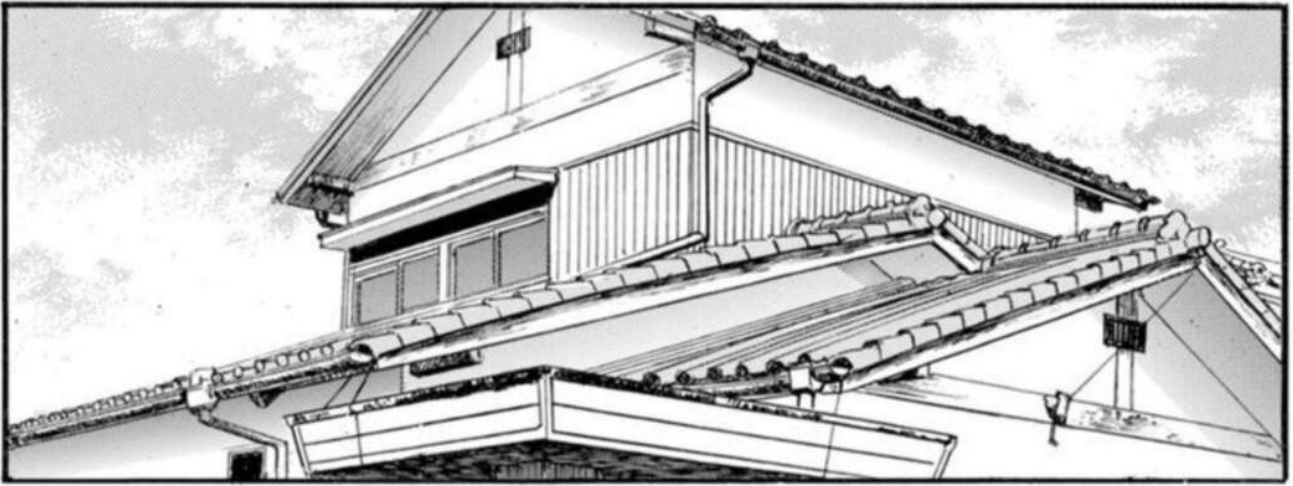














いい…
挿入て



ああ
ヒデちゃんの

入ってくる…



あつ



あっ

あっ

あ
あ
あ

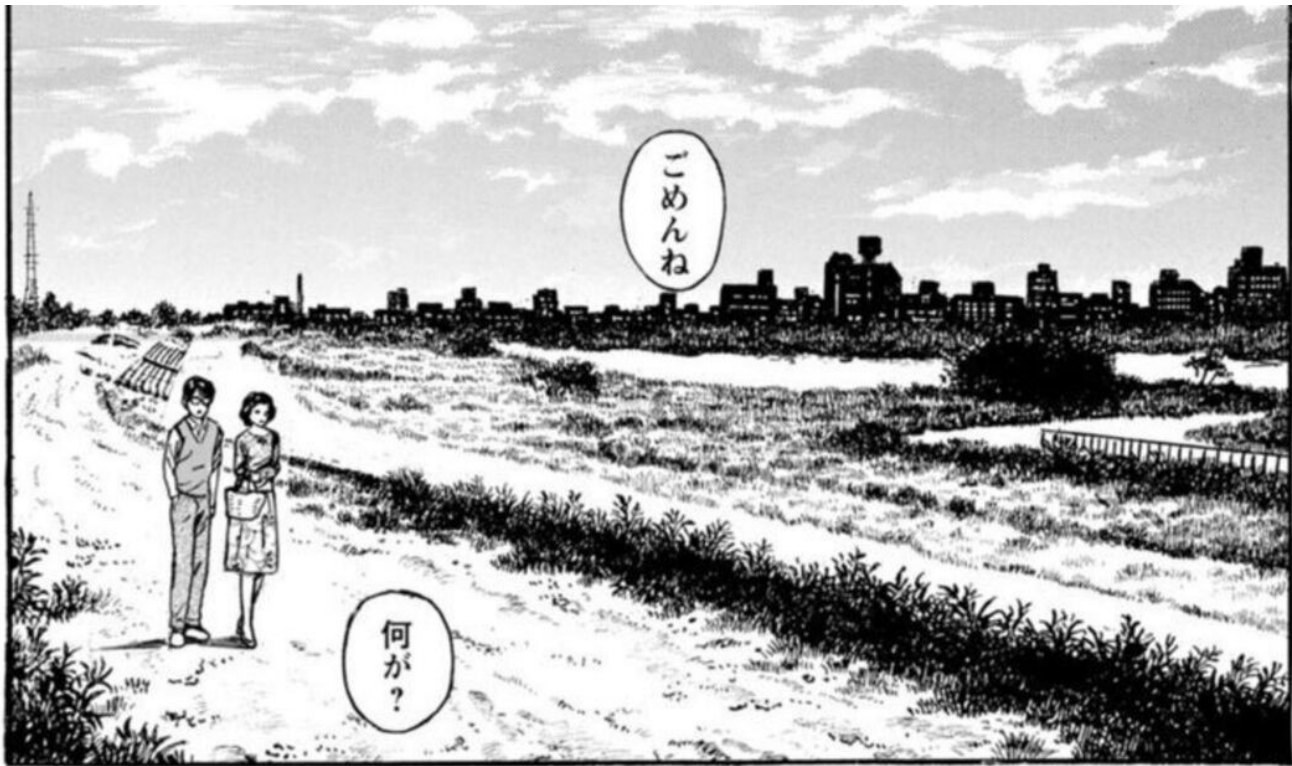


と：時子
叔母さんっ

ああヒデちゃん
私もっもう…



ああ~~~~





ああ
あったかい…



でも
ヒデちゃんの
おかげで
晴ればれとした
ような気分よ…



私この頃ずっと
モヤモヤしていてね
理由のよくわからない
不安っていうのかな…





ヒデちゃん
私の秘密の
オアシスだから

波風を
たてないように



誰にも
気づかれないように
大切にしないと

失って
しまいたくは
ないのよ



**欲に溺れる人妻～
若い欲に蜜をこぼして～①**

鶴永いくお

© 鶴永いくお／秋水社ORIGINAL